

窓

京都新聞 令和2年(2020年)7月15日(水)

有料化 環境考える機会に

下京区・土本 多朗(大学生・19)

7月1日にレジ袋が有料になった。「絶滅危惧種のカメの体内からレジ袋」というニュース。皆さんはこ

のニュースをどう思うだろう。ほとんどの人は「かわいそう」や「もつと自然を大切にしまきゃ」と思うはずである。しかし、その感情はその時だけの感情ではないだろうか。次の日には忘れて、ストローなどのプラスチック製品を平気で使

ってしまっているのではないだろうか。

なぜレジ袋は有料になったのか。地球温暖化対策のため、各国でこの取り組みが行われているからなど、さまざまな理由があると思う。しかし、一番の理由は、この有料化でプラスチックごみなどに対しての意識をもっとほしいからであると私は考える。

この問題を意識している

人も、「有料とかマジだる」と思っている人も、世の中の人全員がもう一度、一から考える良い機会である。皆さんが意識をもち、そして社会全体が変化し、この問題が解決してほしい。7月1日がこの問題に対しての新たなスタートラインである。